

## ■ 団体戦の注意事項

---

### 1. 学校名・登録番号ゼッケンについて

- 1) 学校名を右胸につけること。
- 2) 登録番号ゼッケンを左腰につけること。(ドロー番号の小さいチームが赤色、大きいチームが青色)

### 2. 試合の順序・方法について

- 1) 試合はダブルス・シングルス No. 1・シングルス No. 2 の順に行うが、複数面展開の場合は同時に行う。
- 2) 初回戦は3ポイントすべてを行うことを原則とし、以降は勝敗が決定した時点で試合を打ち切る。(ゲーム途中の場合はポイント打ち切りとする)
- 3) 初回戦は勝敗決定後に、登録選手の中で相手校・審判・競技進行係の了解を得た後、シングルス No. 2 の選手を変更することができる。
- 4) 1～3回戦は8ゲームズプロセットで行う。8ゲームズオール後、タイブレークを採用する。
- 5) 準々決勝以降は3セットマッチで行うことを原則とする。各セット6ゲームズオール後、タイブレークを採用する。
- 6) 天候等の事由により、レフェリーが試合方法等を変更することがある。

### 3. 選手のオーダーについて

- 1) オーダーは、登録選手の中で対戦ごとに組み替えることができる。
- 2) シングルスについては、登録順位の上位の者を No. 1 とする。

### 4. 受付・オーダー用紙提出について

- 1) 第1試合の受付・オーダー用紙提出は、午前8時00分から8時20分の間に、競技本部内の「競技受付」で行うこと。その他の試合は、開始予定時刻の20分前までとする。荒天時の場合も同様とする。
- 2) 急病その他やむを得ない事情によって登録メンバー全員がコートに立てない場合には、オーダー用紙提出時に受付に申し出て、レフェリーの承認を得ること。その内容はオフィシャルボードに書面で掲示する。

### 5. 試合進行について

- 1) 大会初日第1試合の学校は8時50分までに指定コートに入り、開始式を待つこと。
- 2) コート内では審判の指示に従い、両校整列のうえで挨拶を交わし、オーダー用紙の交換を行う。監督は相手校に対し、選手の紹介・確認を行う。

### 6. 連続的プレー

- 1) 団体戦では、第1ゲーム終了後に90秒以内の休憩を認める。
- 2) 各セットが終わった時は、120秒以内のセットブレークを取ることができる。
- 3) 選手は20秒ルール、90秒ルールを厳守すること。

## 7. 応援について

相手チームのプレーを妨害するような応援をしてはいけない。悪質な応援の場合は、応援するチームに対し 1 回目警告、2 回目以降はその都度ポイントペナルティを科す。

「JTA TENNIS RULE BOOK 2014」【P86 コード 18) チーム戦での妨害応援 引用】

歌や複数部員による連呼は各試合前の練習時間のみとする。

## 8. コーチングについて

ベンチには登録された監督または選手の 1 名が、ベンチコーチとして入ることができる。

エンドチェンジの 90 秒間、セットブレイクの 120 秒間には、ベンチコーチからコーチングを受けることができるが、ベンチコーチに悪質なコード違反があった場合は、1 回目、2 回目は警告、3 回目は退場となる。退場の場合、その試合中、代理は認められない。

「JTA TENNIS RULE BOOK 2014」【P86 コード 16) コーチングおよびコーチ 引用】

## 9. ボールパーソンにつて

- 1) シングルス試合に限り、各校から 1 名の中立的な立場でのボールパーソンを認める。ただし、状況に応じてレフェリーがボールパーソンを用意する場合がある。
- 2) 選手と会話をしてはならない。

## 10. その他

試合開始時の挨拶時にチームの全員が指定コートに整列していない場合は、チームを失格とする。ただし、レフェリーの承認を得ている場合はこの限りではない。